

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-24592(P2003-24592A)  
【公開日】平成15年1月28日(2003.1.28)  
【出願番号】特願2001-214022(P2001-214022)  
【国際特許分類第7版】  
A 6 3 F 7/02  
【FI】  
A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】  
【提出日】平成16年5月10日(2004.5.10)

【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項1】

賞遊技媒体を排出可能な賞遊技媒体排出装置と、  
該賞遊技媒体排出装置とは別個に設けられて貸出条件の成立に基づいて貸遊技媒体を排出可能な貸遊技媒体排出装置と、  
該賞遊技媒体排出装置および貸遊技媒体排出装置の制御を行う排出制御手段と、  
を備えた遊技機において、

前記排出制御手段は、

賞付与条件の成立に基づいて排出すべき賞遊技媒体数を累積的に記憶する記憶手段を有し、該記憶手段に記憶されている記憶値に基づいて前記賞遊技媒体の排出を所定数単位に区切って前記賞遊技媒体排出装置から排出するものであり、

前記賞付与条件と貸出条件が重複して成立している場合に、前記賞遊技媒体排出装置と貸遊技媒体排出装置の双方を作動させる両排出制御手段と、

前記賞付与条件と貸出条件が重複して成立している場合に、前記貸遊技媒体排出装置のみ優先的に作動させる片排出制御手段と、

所定条件に基づいて、前記両排出制御手段と前記片排出制御手段の何れを有効にするかを選択する選択制御手段と、

を備え、

前記選択制御手段は、前記賞付与条件の成立に基づく前記所定数単位の賞遊技媒体の排出途中で前記貸出条件が成立した場合に、当該排出途中の一単位の賞遊技媒体の排出が完了するまでは前記両排出制御手段を有効にして、当該一単位の賞遊技媒体の排出が完了した後に前記片排出制御手段を有効にし、前記記憶手段に未排出の賞遊技媒体数が記憶されていても前記賞遊技媒体排出装置の排出動作を保留することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記選択制御手段は、前記記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が所定数以上である場合には前記両排出制御手段を有効にすることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記選択制御手段は、前記片排出制御手段を有効にしている場合において、前記記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が所定数以上となった時点で、前記両排出制御手段を有効にすることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記記憶手段に記憶されている賞遊技媒体数を報知可能な報知手段を当該遊技機の前面側に配設したことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

ところが、賞球と貸球別にそれぞれ球排出装置を備えた場合には、賞球と貸球の排出条件が重複した場合に、両方の球排出装置を共に作動させて賞球と貸球を同時に排出できるといった利点がある反面、同時排出により連続して遊技球が供給皿に払い出されることにより、払い出された遊技球がどちらの遊技球なのか分からず、遊技者に不信感を与える虞があった。

また、あまり多量の遊技球を同時に排出してしまうと、各球排出装置への遊技球の供給が間に合わなくなってしまうという問題もある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため本発明に係る遊技機は、賞遊技媒体を排出可能な賞遊技媒体排出装置と、該賞遊技媒体排出装置とは別個に設けられて貸出条件の成立に基づいて貸遊技媒体を排出可能な貸遊技媒体排出装置と、該賞遊技媒体排出装置および貸遊技媒体排出装置の制御を行う排出制御手段とを備えた遊技機において、前記排出制御手段は、賞付与条件の成立に基づいて排出すべき賞遊技媒体数を累積的に記憶する記憶手段を有し、該記憶手段に記憶されている記憶値に基づいて前記賞遊技媒体の排出を所定数単位に区切って前記賞遊技媒体排出装置から排出するものであり、前記賞付与条件と貸出条件が重複して成立している場合に、前記賞遊技媒体排出装置と貸遊技媒体排出装置の双方を作動させる両排出制御手段と、前記賞付与条件と貸出条件が重複して成立している場合に、前記貸遊技媒体排出装置のみ優先的に作動させる片排出制御手段と、所定条件に基づいて、前記両排出制御手段と前記片排出制御手段の何れを有効にするかを選択する選択制御手段とを備え、前記選択制御手段は、前記賞付与条件の成立に基づく前記所定数単位の賞遊技媒体の排出途中で前記貸出条件が成立した場合に、当該排出途中の一単位の賞遊技媒体の排出が完了するまでは前記両排出制御手段を有効にして、当該一単位の賞遊技媒体の排出が完了した後に前記片排出制御手段を有効にし、前記記憶手段に未排出の賞遊技媒体数が記憶されていても前記賞遊技媒体排出装置の排出動作を保留するようにした。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、前記片排出制御手段は、前記貸遊技媒体排出装置を優先的に作動させるように制御するようにしているので、金額情報から引き落とされるような重要度の高い貸球を即座に排出できるとともに該貸球が排出されていることを遊技者に対して確実に認識させることが可能となる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、前記排出制御手段は、前記賞遊技媒体の排出を所定数単位に区切って前記賞遊技媒体排出装置から排出するように制御し、前記選択制御手段は、前記賞付与条件の成立に基づく前記所定数単位の賞遊技媒体の排出途中で前記貸出条件が成立した場合に、当該排出途中の一単位の賞遊技媒体の排出が完了するまでは前記両排出制御手段を有効にして、当該一単位の賞遊技媒体の排出が完了した後に前記片排出制御手段を有効にするようにしている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また、前記選択制御手段は、前記記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が所定数以上である場合には前記両排出制御手段を有効にするようにしてもよい。これにより、記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が少ない場合には、貸遊技媒体を優先的に排出することで、貸遊技媒体の排出が行われていることを遊技者に確実に認識させることができる。また、記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が多い場合には貸遊技媒体と賞遊技媒体の両方を共に排出することで、記憶手段に記憶された賞遊技媒体数があまりにも多くなってしまふことを防止でき、記憶内容がオーバーフローしてしまったり、記憶手段の膨大な記憶数に基づいて連続的に大量の遊技媒体を排出することで排出装置への遊技媒体の供給が間に合わなくなってしまうといった問題が発生することを防止できる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、前記選択制御手段は、前記片排出制御手段を有効にしている場合において、前記記憶手段に記憶された賞遊技媒体数が所定数以上となった時点で、前記両排出制御手段を有効にするようにしてもよい。これにより、貸遊技媒体を優先的に排出中に記憶手段の記憶された賞遊技媒体数が増加しても、ある一定数に達した時点で賞遊技媒体と貸遊技媒体の両方が共に排出されるようになり、貸遊技媒体の優先的な排出が長期間継続しても記憶内容の増加に基づく問題が生じることを防止できる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 0 】

また、賞球排出ユニット 2 0 0 と貸球排出ユニット 3 0 0 とは、個別の単体ユニットとして構成され、図示しない取付ベース（裏機構盤の中央開口部の側方に形成）にそれぞれ着脱自在に取り付けられている。これにより、故障等により球の排出に異常が発生した場合に、異常が発生したユニットのみを取り外して修理や交換等を行うことができ、メンテナンス作業を容易かつ低コストで行うことができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 4 2 】

このように、ステップ S 1 で貸球排出条件を最初に判定することにより貸遊技媒体排出装置としての貸球排出ユニット 3 0 0 を優先的に作動させる制御を行うことができる。これにより、金額情報から引き落とされるような重要度の高い貸球を即座に排出できるとともに貸球が排出されていることを遊技者に対して確実に認識させることが可能となる。